

令和元年度

事務事業評価表 A (平成30年度の実績評価)

記入年月日  
平成 31 年 4 月 16 日

Table with columns for 事務事業名, 事業区分, 担当, 政策体系, 予算科目, and 法令根拠. Includes details for 'くらしの会助成事業' and '防犯及び消費生活対策の推進'.

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on funding and activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with columns for ①手段, ②対象, ③意図, and ④-⑥各指標. Includes data for activity counts, population, and participation rates.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table showing input amounts for 29, 30, and 01 fiscal years. Includes categories like 国庫支出金, 県支出金, etc.

Table comparing 30年度事業費実績 (千円) and 01年度事業費予算 (千円). Includes a '合計' row at the bottom.

(4) 当該年度の実施内容

Table with columns for 01, 02, and 03 fiscal years' implementation content. Includes a list of activities and a right-pointing arrow.

事務事業名	くらしの会助成事業	事務事業No.	30203000699	所属課	生活環境課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	
昭和53年から活動を開始しているが、消費生活を取り巻く状況は、著しく変化している。これに伴い様々な問題が発生しており、問題を効率的に解決していくためには、主体的・合理的に行動することが必要であり、それが可能になるよう支援していくことが大切である。	
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?	
真壁くらしの会が始まりであり、合併に伴い「桜川市くらしの会」となった。平成26年度までは真壁地区がほとんどで岩瀬地区会員が2名となっていた。26年度には大和地区2名、28年度には岩瀬地区で1名が加わったが、岩瀬地区・大和地区の会員を徐々に増やすことが望ましいとの意見がある。	
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容	
改革改善を行う	補助金が増額になったことから、活動の見直し案が出ている。会員が自主的に活動できるような組織づくりと環境づくりが必要であり、そうすることで参加しやすい会となり会員の増加にもつながると考えられる。

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 様々な知識を習得し情報提供していることで、市民生活の安全安心に過ごせるまちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である くらしの会を支援することで、市民に情報の周知により安全安心に繋がる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 活動の充実を図るため、会員数を増やし活動を活発にすることで成果がでる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民の消費生活安定向上のためにも廃止・休止することで、市外で活動している団体との情報収集の手段が途絶えてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 市内には消費者団体が1団体となるため、統廃合は無理である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 事業については活発に活動していることから削減は難しいが、人件費については、会員で会を進めていくことで削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 会員が得た情報や知識を市民に提供していることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	消費生活センターではくらしの会会員対象に講座を開催し情報発信し、また、消費者問題で悩んでいる市民を消費生活センターを案内して解決の糸口に繋がっている。自主活動をしていこうという傾向になってきており、行事の参加者は増えてきているが、会員の減少がみられるため勧誘活動も積極的に行う必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
(6) 事務事業優先度評価結果																										
成果優先度評価結果		④																								
コスト削減優先度評価結果																										

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> A B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>